

令和7年度 社会福祉法人能生名立福祉会 事業計画

1. 理 念

(1) 法人理念

“誠実・信頼・継続”

- ・福祉の心を持って、安全で安心できる質の高いサービスの提供を心がけ、地域に開かれた施設を目指します。

(2) 経営理念

“持続可能な経営”

- ・法令順守に努め、安定した経営基盤を構築し、利用者の皆様をはじめ、ご家族や地域の皆様に信頼され愛される事業を目指します。

(3) 生活支援理念

“あなたの笑顔こそが私たちの喜びです。”

- ・職員の喜びであるとともに、法人の職員へのメッセージとして伝えていきます。

(4) 人事理念

“質の高い生活支援は、質の高い職員から提供される。”

- ・特にその場で提供され消費されてしまうケアの質は、質の高い職員が担保することから、いい人材の確保と人材育成の体制を整備していきます。

2. 基本原則

- (1) 私たちは、利用者の皆様の基本的人権を尊重し、その人らしさを大切にします。
- (2) 私たちは、地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様から必要とされる施設を目指します。
- (3) 私たちは、利用者の皆様の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人づくりを目指します。

3. 行動指針

- (1) 私たちは、利用者の皆様に職業的に接するのではなく、まず人として接することを心がけます。
- (2) 私たちは、“利用者のために”ではなく、“利用者の立場”になって考え行動することを心がけます。
- (3) 私たちは、気づく力を大切にし、常に専門性の向上に努め、安全で安心な生活支援の提供を心がけます。
- (4) 私たちは、利用者の皆様の様子を説明する機会を多く持ち、ご家族の皆様との連携を密にし、信頼関係が築けるよう心がけます。
- (5) 私たちは、施設の開放はもとより人材を地域に広く開放し、「資源としての施設」として地域の皆様から信頼されるよう心がけます。
- (6) 私たちは、常に自己研鑽に励み、福祉の専門職として資質向上を常に心がけます。

4. 生活支援方針

- (1) 私たちは、施設が利用者の皆様の生活の場であることを念頭に置き、常に快適な生活の場であるように努めます。
- (2) 私たちは、介護・看護が一方的になっていないか常に自己点検を行い、批判については謙虚に受けとめます。
- (3) 私たちは、介護・看護にあたり、なぜそのことが必要なのかの理由（エビデンス）を説明できるように努めます。
- (4) 私たちは、利用者、家族からの苦情・意見等に対しては誠意を持って適切に接し、是正・改善に取り組みます。

5. 中期計画

【ビジョン】

- ・法人への信頼を築きあげる。
- ・人を大切にし、人が育つ法人をつくる。
- ・利用者の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす。

(1) ハード面

- ① 機械設備の計画的な更新等を行い、業務に支障が出ない施設運営を行う。

(2) ソフト面

- ① 安全で安心な生活支援の提供を基本とする。
- ② 利用者の皆様が、居心地の良い施設を目指す。
- ③ 利用者の皆様の自立を促すことにより、介護の負担を軽くすることを心がける。
- ④ 法人の目指しているものと職員のマインドを合わせる研修を実施し、帰属意識の高い職員の育成を行う。

6. 令和7年度 事業計画

重点目標 「5年後、10年後も地域に信頼される法人であり続ける。」
「職員が安心して働ける職場を作る。」

(1) 社会福祉法人 能生名立福祉会

- ① 安定した法人経営に向けて、各事業所で稼働率向上や経費節減、新規の加算取得等に努め、事業活動の収支を黒字にする。
- ② 介護人材確保が困難な現状のなか、採用活動の強化とともに、組織の見直しや適正な人員配置及びICT機器の活用を進め、効率的な経営を図る。
- ③ 法人が目指す各理念に基づいた事業展開に努める。
- ④ 開設から30年経過しており、施設の長寿命化に向けた点検整備に努める。
- ⑤ サービスの向上、地域福祉の推進、法人の事業継続に向けて、法人の現状把握と課題分析を行い、今後の方向を明確にするための新たな中期計画を立案する。
- ⑥ 職員が安心して働ける職場作りに向けて、課題を分析し問題点を解決していく。

(2) 特別養護老人ホームおおさわの里

<従来型特養 すみれ棟>

【目 標】

1. ユニット会議を確実に開催する。
2. 記録を電子化する。

【行動計画】

- 1 - ① 毎月第2水曜日にユニット会議を開催する。
- 1 - ② 事前に司会、書記を指定する。
- 1 - ③ 参加できない職員のために、意見提出用紙を事前配布し、多くの職員から意見等を集める。
- 2 - ① 電子化の担当職員（1～2名）を決める。
- 2 - ② 4月から準備を行い、5月から開始し、10月に全員ができるようにする。

<従来型特養 あやめ棟>

【目 標】

1. 生活環境を整え、安心かつ安全に過ごして頂けるようケアを行う。

【行動計画】

- 1 - ① 個々の職員が改善した方が良くことを出し合い、ユニット会議等で検討を行う。
- 1 - ② 1日3回のミーティングを行い、ご利用者の情報について伝達・共有する。
- 1 - ③ ご利用者の希望を聞きながら、落ち着いてケアを行う。

＜ユニット型特養 さつき棟＞

【目 標】

1. ユニット会議を毎月行い、ご利用者と職員が安心安全で快適な生活を送れているか情報の共有と確認を行う。

【行動計画】

- 1 - ① 職員は事前に議題を1つ以上考え、会議をスムーズに行う。
- 1 - ② 会議で決定されたことを職員は徹底する。

＜ユニット型特養 わかば棟＞

【目 標】

1. 体調管理に気を配り、みんなが健康で過ごせるわかば棟にする。
2. 職員同士が信頼し合える明るい職場環境を作る。

【行動計画】

- 1 - ① 1日1回を目安に体操等で身体を動かす機会を作り、気分転換や体重管理に繋げていく。
- 1 - ② 日頃から「うつらない・うつさない」を心掛け、マスク着用や手洗い・手指消毒を徹底し、感染症を防ぐ
- 2 - ① 「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」を常に心がけ、伝達ミスをゼロにする。

＜ユニット型特養 あかね棟＞

【目 標】

1. 職員間での情報共有を忘れずに行い、ご利用者が安心して過ごしてもらえる環境を作っていく。

【行動計画】

- 1 - ① 関わったことには最後まで責任を持ち、「知らなかった」「聞いていなかった」「つながらなかった」がないように確認を行う。
- 1 - ② ご利用者それぞれに合った対応を行えるよう、日々の訴えに耳を傾ける。

＜生活相談員・介護支援専門員＞

【目 標】

1. 退所から新入所までの間隔を2週間以内に行う。
2. 利用者満足度の向上を目指す。

【行動計画】

- 1 - ① 次期入所候補者として8名の状態確認、健康診断を実施する。
- 1 - ② 状態確認後の情報を3日以内に整理し、S l a c kで共有して受け入れ体制の構築に努める。
- 1 - ③ 入院者の情報を週1回（金曜日）確認し、退院や退所に備える。
- 2 - ① ご利用者と月2回以上話す。

＜看護課＞

【目 標】

1. ご利用者が安全・安楽な生活を過ごせるよう支援する。

【行動計画】

- 1 - ① 体調の変化に迅速に対応し、早期の受診に繋げる。
- 1 - ② 回診時、ご利用者の様子を適切に医師に報告し、診療に繋げる。
- 1 - ③ 本人・家族が望む看取りケアが提供できるよう他スタッフと連携を図る。

＜栄養課＞

【目 標】

1. ご利用者に安心安全な食事提供を行う。

【行動計画】

- 1 - ① 厨房内での異物混入をゼロにする。
- 1 - ② 作業中の衛生管理と環境整備を責任持つて行う。
- 1 - ③ 火の元、戸締りを確認し、うっかりミスゼロにする。

＜庶務課＞

【目 標】

1. 業務をフォローし合い、何事にも対応できる体制を強化する。
2. 業務の効率化と生産性の向上を進め、事務処理の質の安定を図る。

【行動計画】

- 1 - ① 思いやりのある態度や言葉遣いを心がけ、調和のとれたコミュニケーション、連携を取る。
- 1 - ② 毎月1回の事務員会議またはミーティングを定着させ、情報を共有するとともに課題を明確にし、解決策、改善案を出し合い対策を講じる。
- 1 - ③ 広い視野をもち、しっかりと考えることを意識して、先を見通し行動する。
- 2 - ① ICT機器等を活用し、ペーパーレス化と時間的コスト削減を図る。
- 2 - ② 環境の変化や状況に合わせてタイムマネジメントを行うとともに、ミス率ゼロを目指し、余裕を持って業務を進める。
- 2 - ③ 時代に沿った情報やツールに目を向け取り入れていけるように、積極的に知識を身につける。

（3）短期入所生活介護おおさわの里（ショートステイ）

【目 標】

1. 年間稼働率80%以上を目指す。

【行動計画】

- 1 - ① 毎月ユニット会議を行い、職員連携につなげる。
- 1 - ② 余暇活動を提供するなど、ご利用者が有意義に過ごせるようにする。

(4) デイサービスセンターおおさわ

【目 標】

1. 年間稼働率85%以上を目指す
2. 「ここがいい」と選んでもらえる施設を目指す。

【行動計画】

- 1-① 関係事業所へ空き状況を毎月1回以上周知する。
- 1-② 毎月の稼働率を分析し、課題等を明確化して職員間で共有する。
- 2-① 職員会議を毎月1回開催して、業務内容やご利用者との関わり等について検討・改善を行う。
- 2-② 毎月1回以上ホームページ等を活用して、デイおおさわの取り組みや強みをアピールする。

(5) デイサービスセンターささら苑

【目 標】

1. 年間稼働率86%以上を目指す。(1日平均26名以上)
2. 地域とのつながりを持ち、必要とされる施設、職員を目指す。

【行動計画】

- 1-① ご利用者の身体機能の維持や向上、職員及びご利用者の趣味や特技を生かした支援を行い、地域から選ばれる施設を目指し、稼働率向上を図る。
- 2-① 地域における役割を理解し、地域の一任となる行動を行う。
- 2-② 次年度の課題把握を行う。

(6) 在宅介護支援センターささら苑

【目 標】

1. 介護支援専門員として様々な支援方法を考え、ご利用者の状態に応じた自立支援を目指す。
2. 経費削減を意識する。

【行動計画】

- 1-① 定例会を毎月開催し、支援の困りごとを共有する。
- 1-② 個人及び事業所の研修計画を立て、月1回以上研修会を行う。
- 1-③ 医療連携を強化するため、入院時の情報を3日以内に医療機関へ提出する。
- 2-① 不要なカラーコピーをしない。
- 2-② 印刷前の指差しチェックを行い、印刷ミスを減らす。

(7) 能生地域包括支援センター

【目 標】

1. 効果的な総合事業の活用
2. 生活支援体制整備事業を活用した生活支援サービスの創出
3. 認知症支援の地域づくり

【行動計画】

- 1 - ① 適切なアセスメント手法や状態評価を用いて、具体的な目標・支援方法を導き出し、重度化防止に向けた取組みを行う。
- 1 - ② リハビリ専門職等との連携を深め、状態の維持改善に向けた効果的な総合事業の活用を勧める。
- 2 - ① 小泊地区を重点支援地区と選定し、関連機関にも地域支え合い活動の周知に努め、多様なサービスのニーズ把握を行う。
- 2 - ② 磯部地区の地域課題を共有や協議する場を検討し、地域住民と協働で生活支援サービスの展開を図る。
- 3 - ① 認知症があっても住み慣れた地域で暮らせるよう、関連機関と連携を深め認知症高齢者見守り事業の啓発に努める。
- 3 - ② 認知症に関する困難ケースについて、支援体制構築に向けた分析を行い、現状と課題を把握する。

(8) ケアハウス ハイッ能生

【目 標】

1. ご利用者の健康維持と介護予防に取り組む。
2. 年間稼働率88%以上を目指す。

【行動計画】

- 1 - ① 毎日の体操や月1回の全体行事について、ご利用者の満足度向上と健康や介護予防への意識向上を図るため、ご利用者へのアンケートを3ヶ月に1度実施し意見を反映していく。
- 1 - ② 感染症予防のため、ご利用者の手洗い、うがい、咳エチケットが習慣になるよう、毎日の体操や月1回の行事に感染症予防に関連したミニ講座を取り入れる。
- 2 - ① 待機者確保のため、関係機関との連携を綿密に行い、空室や待機状況の情報を発信していく。

7. 予算関係

(1) 固定資産

科 目	拠 点	内 容	金 額
建物（基本）	おおさわ	火災報知設備更新	18,000,000 円
		あやめ棟浴室給湯系統配管更新工事	5,000,000 円
		L P ガスボンベ置場設置工事	1,000,000 円
		拠点計	24,000,000 円
〃	ケア	火災報知設備更新	2,000,000 円
		拠点計	2,000,000 円
〃	ささら	浴室用ガス給湯器更新	3,000,000 円
		拠点計	3,000,000 円
建物（基本） 全 拠 点 合 計			29,000,000 円
器具及び備品	おおさわ	厨房食器消毒保管庫入替	1,230,000 円
		拠点計	1,230,000 円
器具及び備品 全 拠 点 合 計			1,230,000 円

(2) 事業費および事務費

科 目	拠 点	内 容	金 額
消耗器具 備品費	おおさわ	すみれ棟給湯設備取替工事 (電気温水器、蛇口等)	605,000 円
修繕費	おおさわ	同上 (取付工事費)	730,000 円
賃借料 (7 年リース) ＜新規＞	ささら	電話機主装置＜N T T＞ (令和 7 年 4 月 1 日～令和 14 年 3 月 31 日)	月額 15,950 円 年額 191,400 円 総額 1,339,800 円 (税込価格)